



受付日：令和5年5月8日  
受付番号：HP23-KT051

## 接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

令和5年6月26日

東京都港区海岸1-1-1  
ニューピア竹芝ノースタワー17階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 坂 慎 義 夫

1. 接合金物名称	高耐力ホールダウンHi(枠材厚45mm)
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「高耐力ホールダウンHi」 材 質: SS400(JIS G 3101)*1 寸 法: (外形)45mm×53mm×550mm t=4.5mm ビス用孔18-φ6.5mm 表面処理: エコート*2WH処理</p> <p>2) 接合具</p> <p>「木ねじ TB-101」 18本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15~0.23% Mn;0.60~1.00% P;0.030%以下 S;0.050%以下 寸 法: 頭部径φ10.8mm 軸径5.9mm ねじ山径6.2mm ねじ谷径4.0mm ねじピッチ3.18mm L=100mm ねじ部L=80mm 表面処理: エコート*2WH処理</p> <p>「丸座金φ37」 1枚 材 質: SS400(JIS G 3101)*1 寸 法: φ37mm(内径φ17mm) t=6mm 表面処理: カチオン電着塗装</p> <p>「両ねじボルト M16」 1本 材 質: 強度区分6.8を満足する炭素鋼(JIS B 1180及びJIS B 1051) 寸 法: M16 L=400mm 表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>「六角ナット M16」 1個 材 質: 強度区分6を満足する炭素鋼(JIS B 1181及びJIS B 1052) 寸 法: M16 表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材: 105mm×105mm×1,300mm スギ 無等級材 含水率:7.0~9.0% 全乾密度:0.39~0.45g/cm<sup>3</sup> 枠材: 45mm×105mm×1,300mm スギ 無等級材 含水率:11.5~12.0% 全乾密度:0.38~0.42g/cm<sup>3</sup></p> <p>4) その他</p> <p>柱と枠材の接合: 鉄丸くぎN90 17本</p> <p>*1 引張強さ400N/mm<sup>2</sup>以上、降伏点245N/mm<sup>2</sup>以上の強度を満たす炭素鋼 *2 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様とし、厚さ45mmの枠材を介して当該接合金物を柱に取り付けた。 試験体は、「両ねじボルトM16」と「六角ナットM16」を用いて鉄骨架台に手締めにて固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>60.3 kN</b> (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和5年6月2日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健 石田 恵菜

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。